

おばなざわ 市議会だより

平成22年度一般会計決算など23議案を可決

宮沢中学校 閉校記念 秋季大運動会



平成24年4月より尾花沢中学校と宮沢中学校が統合

9月定例会

補正予算・議案の審議	2	ページ
決算特別委員会	3	ページ
一般質問	6	ページ
可決された議案・請願・意見書・東日本大震災特別委員会	10	ページ
私のひとこと・人のうごき・あとがき	12	ページ
分科会委員長報告	4	ページ



平成22年度決算を認定

一般会計 111億0,619万円
 特別会計 55億8,230万円
 予算総額 166億8,849万円

平成23年度
 一般会計補正予算 3億4,300万円
 一般会計予算総額 104億7,464万円

9月定例会

補正予算の審議

防災対策の充実

質 非常時の発電機を5台購入として150万円を補正されましたが、どこに配置するのですか。

答 発電機は1台30万円です。各区公民館に配置します。

質 丹生公民館でこのたび発電機を購入することになりました。今後各地域で非常事態に備え購入を図る事例が増加すると考えられますが、その支援体制をどう考えていますか。

答 防災機器材の整備には非常

平成23年9月定例会が9月7日から22日までの16日間の会期で開催されました。7日に加藤市長から市政概況報告と平成22年度一般会計歳入歳出決算認定など決算議案が8案件、平成23年度一般会計補正予算等4案件ほか、尾花沢市税条例等の一部を改正する条例の制定等7案件、計19案件が上程され提案理由の説明があり、平成23年度補正予算4議案が審議され原案通り可決されました。9日、12日には一般質問で7名の議員が市政全般について市当局の考えを質しました。12日に全議員で構成する決算特別委員会を設置し、13日から16日まで付託された決算議案に対して総括質疑を行い、さらに3分科会を設置して慎重に審査し、すべての議案は原案の通り認定されました。最終日の22日には、本会議が開催され、決算特別委員長の報告を受け、22年度一般会計歳入歳出決算ほか7案件はいずれも認定されました。その他の議案7案件と追加上程された議案4案件は、審議の結果いずれも原案通り可決されました。また任期満了となる尾花沢市選挙管理委員会委員と補充員それぞれ4名の候補者は、議会の選挙をもって当選されました。

食を含めて前向きに補助制度を検討していきます。装備のマニユアルも作り各集落に周知徹底を図っていきます。



防災訓練中に使用した発電機

小学校・中学校管理費

質 宮沢中学校を小学校へ改修するための統合小学校改修設計

消防補償等組合負担金

質 1千710万円の補正ですが、来年度もこの負担額ですか。

業務と改修工事までの工程はどうなっていますか。
 答 補正予算を可決いただいた後、ただちに調査に入り、小学校の先生方の意見を聞きながら設計は今年12月末まで完了し、24年度改修工事に着手する予定です。
 質 用地購入費1千697万円余り計上されていますが、購入目的と場所を伺いたい。
 答 尾花沢中学校へ宮沢中学校が統合されるので駐車場用地の確保のため、尾花沢中学校校門西側の1千226㎡を考えています。



答 平常時は団員1人当たり1千900円ですが今年度は東日本震災で多くの団員が殉職され、今年度に限り2万4千700円と増額されました。来年度は元の負担金に戻ります。なお、増額分は特別交付税で還付されることになっていきます。

土木費

質 住宅リフォーム支援補助金で300万円の補正予算を計上していますが、これまでの申請件数とこれからの見込み件数をどう考えていますか。

答 これまでの申請件数は60件中52件が該当着工しています。

県の補助交付も合わせて30件受けられ484万4千円を既決して当初の600万円に近づいてきました。今後冬季に向かいますので市補助10件、県補助10件を考えていきます。

質 除雪機械購入の予算2千950万円の減額はどのようにですか。

答 グレーダーの替わりロータリー除雪車購入を予定でしたが県の調整で補助対象から外されましたので見送らざるを得ませんでした。

質 衛生費で放射能測定器購入63万円補正となっていますがどう使用していきますか。

答 現在利用しているのは県からの借り物なので測定に制約がありますが、市内のいろいろな場所でも自由に測定できて安全が確保されるように購入することになりました。



購入される放射能測定器

議案の審議

市税条例等の一部を改正する条例

質 これまで納税義務者が期限内に申告をしない場合、3万円以下の過料でしたがそれを10万円以下の過料に改正するのはなぜですか。また3万円以下の過料の執行は以前にありましたか。

答 地方税法の一部改正に伴い、条例の整備を図るためです。これまで3万円以下の過料の徴収はありませんでした。

水環境保全条例

質 翁山リゾート開発についての対応はどうしていますか。

答 当該不動産業者から考えを聞いていますが、外国資本にも渡る可能性もあります。法的規制がないので早く情報を共有し、水環境の保全に努めていく基本理念の条例です。

決算特別委員会

質 婚活支援事業LaLaネットの予算が昨年度年間3万円では少ないと思えますがどうですか。

答 今年度は予算30万円になっています。月1回の開催で委員会を行っていますが、近隣の市町村の婚活事業を参考に今後魅力ある事業展開を考えていきます。

質 雪冷房システムのランニングコストはいくらですか。これまでの実験を検証し、市民生活に還元するべきではないですか。

答 年間では委託料やシート代などの経費で約100万円ほどです。民間で活用するにはもう少し運用費や改良の検討が必要なので今後も検討していきます。



防災訓練初期消火の様子



佐々木監督 市民榮譽賞授賞式

質 なでしこジャパンの活躍にあやかつて尾花沢の農産品をPRしてはどうですか。

答 市ではスイカ22ケースと尾花沢牛肉20kgをプレゼントしました。今後とも応援していきます。

質 防災訓練に民生委員を加えてはどうですか。

答 今年度9月18日の防災訓練前に間に合うように連絡をして実現させます。



質 高齢者世帯の雪対策は充分ですか。

答 市や県の助成制度などもありますが、市民みんなで見守りをして安心安全な尾花沢をめざしたい。

質 鳥獣被害とりわけ猿被害が拡大していますが有効な対処法はありますか。

答 市内では電気柵が有効だと報告を聞いています。設置時の補助制度などの啓蒙活動を強化して今後とも被害が拡大しないように調査研究します。

質 登山道刈払業務の予算を減額せずに元に戻すべきと思いませんか。

答 登山者の足の確保のためにも県に対して減額しない方向で働きかけていきます。

質 子育て支援の観点から医療費の直接払いにもどしてはどうですか。

答 事務手続きなどの簡略化をめざし、今後検討します。

質 宮沢中学校が尾花沢中学校へ統合になりますが、生徒の足の確保はどうなっていますか。

答 平成24年度から統廃合されますが、生徒の足の確保は路線バスの活用その他スクールバスを

質 財政健全化の検討会はどのように行われましたか。

答 職員による検討会を年1回行い、今までに計4回行われました。

検討しています。

質 行財政健全化監査報告の達成率が13%とあつたがやりすぎではないですか。

答 平成16年～22年の三位一体改革でさまざまな削減をしました。市民サービスに支障がきたさないように新たな行革策定では少子化、雪対策などに考慮して元気な尾花沢にするために努めていきます。

質 今年のまるだし尾花沢ふれあいまつりはどの様な内容ですか。

答 10月8日～9日に開催されますが、3億円もするトヨタの燃料電池車の展示や、一人乗りの電気自動車、ミルイラの試乗体験会等様々な魅力あるイベントが開催されます。

質 緑のふるさと協力隊や短期プログラム「ふるふる協力隊」の活動について、地球緑化センターから都会の若者を受け入れ、地域の元気づくりや農作業補助、各種イベントの手伝いなど幅広い活動に係っていただいているとの説明を受けました。今後とも都市と農村の若者交流を推進を図るよう要望しました。元気な地域づくりと地域雇用創造推進事業については、昨年7月に厚生労働省と委託契約を行い、昨年度は18講座65回のセミナーを開催し、41名の雇用創出につ

質 依然として厳しい財政状況の中、自主財源である市税を確保するため収納対策については、市税等収納対策本部員、市民税務課職員による出納閉鎖前の夜間徴収、納税相談員による訪問徴収、夜間納税相談窓口の開設などの説明がありました。自主的な納付の啓蒙促進は勿論のこと、未納による様々な状況に応じ公正公平な課税のもと納税相談、訪問徴収を行うよう要望しました。

質 燃料電池車「トヨタFCHV-adv」



燃料電池車「トヨタFCHV-adv」

予算特別委員会 分科会委員長報告

第1分科会（総務文教）

依然として厳しい財政状況の中、自主財源である市税を確保するため収納対策については、市税等収納対策本部員、市民税務課職員による出納閉鎖前の夜間徴収、納税相談員による訪問徴収、夜間納税相談窓口の開設などの説明がありました。自主的な納付の啓蒙促進は勿論のこと、未納による様々な状況に応じ公正公平な課税のもと納税相談、訪問徴収を行うよう要望しました。

緑のふるさと協力隊や短期プログラム「ふるふる協力隊」の活動について、地球緑化センターから都会の若者を受け入れ、地域の元気づくりや農作業補助、各種イベントの手伝いなど幅広い活動に係っていただいているとの説明を受けました。今後とも都市と農村の若者交流を推進を図るよう要望しました。元気な地域づくりと地域雇用創造推進事業については、昨年7月に厚生労働省と委託契約を行い、昨年度は18講座65回のセミナーを開催し、41名の雇用創出につ

なげた旨、また今年度については、農業の6次産業化のための実践講座等を多く計画していることの説明があり市民への周知等について更に図るよう要望し、了承したところです。

付託案件は慎重に審査した結果、いずれも全会一致で原案どおり認定すべきものと決定しました。



石川・古藤隊員の「おばねのうた」熱唱

第2分科会（市民厚生）

路線バス運行費の市営バスの利用状況について質したところ、



詳細な説明があり、市営路線バスへの運行にあたっては、バス利用者の減少に伴い、今後、各路線の利用状況、利便性を把握しながら、効率的な運行を行うよう要望しこれを了承しました。



ワンフロアーに改善された市民税務課の窓口

戸籍住民基本台帳費についてですが、住民サービスの向上を図るため、市民税務課から健康福祉課までを、ワンフロアー化したことにより、これからも親切・丁寧な相談を行っていく旨の説明を受けました。今後も、市民サービスの向上に努めていくよう要望し、これを了承しました。

老人福祉費では、リフト車両運行業務に関して、車両の更新や運行手法などについて検討の

上、市民に不便が生じないように要望しました。

また、災害時の要援護者の援護体制について質したところ、連携して、要援護者マップを作成し、民生委員と情報を共有して、対処する旨の説明がありこれを了承しました。

児童福祉総務費中、子育て支援医療給付についてですが、平日の日の申請を必要とする償還払いから医療機関窓口での支払いを不要とする現物給付への変更を要望したところ、医療費の増大とならないことも必要であり、本来の目的を踏まえた中で申請しやすい方策も含め検討していく旨の答弁があり、これを了承しました。

付託案件は慎重に審査した結果、いずれも全会一致で原案どおり認定すべきものと決定しました。

第3分科会（産業建設）

徳良湖周辺施設に関して、団体系料金の設定を検討するよう要望しました。市営住宅使用料の現年度分の収納率は、前年度より改善している旨の説明を受けましたが、過年度分の不納欠損に伴う専決処分等について、内部で検討するよう要望しました。

物品売払収入の中で、観光PR袋について今以上にPR効果が高まるようなデザインの変更について検討されるよう要望しました。

次に、歳出についてですが、労働諸費について無料職業紹介所の現状と雇用状況について説明がありましたが、今後も各種制度を活用しながら雇用の確保に努めるよう要望しました。

農業振興費に関連して、耕畜連携について質したところ尾花沢市内における稲わら収集について検討している旨の説明及び、尾花沢牛ブランド化推進事業費負担金等について詳細な説明があり、これを農業の振興へ結びつけていただけるよう要望しました。

尾花沢産牛振興協議会負担金について質したところ、尾花沢牛肉まつりの開催日については、経過や実績等によりこれまでどおり開催したい旨の説明があり、これを了承しました。また、牛肉まつりの実績報告書について予算執行の実績報告書に掲載するよう、要望しました。

花笠高原施設について、将来的には、抜本的な見直しも視野に入れながら経営の安定化を図るため様々な角度から十分検討されるよう要望しました。また、花笠高原スキー場のリフト運行

について、今後も安全管理を徹底されるよう要望しました。

林業総務費に関連して、ナラ枯れ対策について質したところ、ナラの木を守る地域を指定し、樹幹注入による対策や伐倒処理対策等を実施する旨の説明があり、これを了承しました。また、有害鳥獣対策について質したところ、詳細な説明を受けましたが、有害駆除対応策として電気柵等の効果を情報提供するよう要望しました。

林業振興費に関連して、みどり環境交付金事業について詳細な事業の実績報告がなされましたが、これらの詳細な実績を予算執行の実績報告書に掲載するよう、要望しました。

付託案件は慎重に審査した結果、いずれも全会一致で原案どおり認定すべきものと決定しました。





9月定例会

一般質問



加藤克彦 議員

尾花沢花笠まつりを
土日開催の考えは

質 明德小学校と高橋小学校の統合後の廃校の利活用は、地域の要望を聞いて検討すべきではないですか。

市長 空き校舎の再利用が可能である場合、第1は行政上の利活用、第2は地域の活性化拠点としての利用、第3は企業や団体等への譲渡、あるいは解体し、敷地として売却譲渡などで対応していきます。耐震化や解体費も多額を要するため国庫の制度も要望していきます。

質 今後の尾花沢花笠まつりは、土日開催で昨年よりも多い16万人の誘客動員数であり、8月の最終土日に変更して開催してはいかがですか。

市長 8月27日は諏訪神社例大祭、28日は花笠踊り大パレードというのが市内外に定着しています。土日開催は参加しやすい、見に来やすいということですが、長年引き継がれてきた伝統でもあり、現在の形で実施するのが一番望ましいと考えています。多くの方々から来ていただけるよう、広報PR活動に努めつつ、氏子の方々や役員の皆さんと話

し合っしていきたいと考えています。

質 望ましい本市の自然エネルギーと、具体的な政策について伺います。

市長 幸いにも本市には、多くの雪が降り、「美しい水」や「豊かな緑」の源になっています。この雪の特色である「雪氷冷熱」の利活用は不可欠であり、新エネルギーを設置しました。本市における新エネルギー利用について検討していきます。

質 少子化定住対策として、若者向け住宅の建設と保育料無料化、給食費の無料化、買物券(市内商店を限定した10~15%の券)を配布して、支援を図ってはいかがですか。

市長 若者向け住宅の建設は、定住の促進に有効であると考えます。4月から「ふるさと暮らし応援事業」がスタートしました。若者定住を図るため民間賃貸住宅等家賃補助を新設したところ、市外から新婚世帯が入居しています。現行の事業を検証し、今後とも効果のある定住対策を検討していきます。



大類好彦 議員

プレミアム商品券で
街の活性化を

質 シルバー人材センター事務所移転で、更なる高齢者の支援をお願いします。

市長 今までシルバー人材センターの存在を知らない方々にPRする絶好の機会と考えています。今後は、高齢者の経験・知識・技能をまちづくりに活かすよう努めていきます。

質 プレミアム商品券で街の活性化対策を図ってはどうかですか。

市長 東日本大震災の影響で冷え込んだ経済活動を奮い立たせようと、4月に第5弾となる15%のプレミアのついた「元気おばね商品券」を2千500セット発売し、即日完売となりました。第6弾については、10月に開催される「まるで尾花沢ふれあいまつり」の会場と尾花沢地区以外の各地区公民館で、当初予定した分に1千セットを追加し、3千500セット発売されます。市民生活支援、地域経済の活性化のために、大型店と商店街がタイアップする新しい方向を模索したり、お客さんが選んでくれる商店街づくりのために商工会・商店街協同組合と連携して

支援できるよう努力していきます。

質 銀山温泉のトイレ整備と、ゴミ対策についての取り組みについて伺います。

市長 公衆トイレについては、長年の懸案事項であり、土地の確保が一番の問題です。銀山温泉組合の考えをご提示いただいています。市は支援方法を検討していきます。銀山温泉から排出される廃棄物は、一括して処理しています。観光客の持込ゴミについては、事業活動の一環であると認識しています。

質 花笠ニュータウンに、さらなる対策で分譲の促進を図ってはいかがですか。

市長 現在まで25区画を販売し、12区画が残っており、早期の分譲に向けて取り組んでいきます。定住支援事業補助金の活用をはじめ、市のHP・市報・山形新聞への情報掲載や近隣市町も含めたチラシの折込、ハウスメーカーへの情報提供などを強化していきます。



9月定例会

一般質問



星川睦子 議員

「ふるさと納税」制度の活用を 「ふるさと納税」制度の活用を

質 「ふるさと納税」は市外の方々から納税していただける制度です。増収を図るため、イベント会場でのPR活動・年末調整での控除対応などに取組まれてはいかがですか。

市長 ふるさと応援基金申込みの利便性を高めるため、9月よりインターネット・ポータルサイトの公金システムを導入しました。今後とも各種イベントや物産フェアの機会をとらえ、PRに努めていきます。なお、年末調整の対応については、3市1町で組織する「北村山地区市町税務連絡協議会」で連携しながら要望していきます。

寄付金税額控除の適用を受けようとすると、当該寄付金の額、その他必要な事項を記載した申告書を提出することになっていますが、「北村山地区市町税務連絡協議会」等で連携を図りながら、控除の簡略化に向けて努力していきます。

質 市の経済成長のために、生産性の高い業種への安定雇用と地場産業の育成について、所見を伺います。

市長 昨年度、雇用創造協議会を設立し、各産業連携による「尾花沢市雇用創造事業計画」に基づき、平成22年度からの3カ年事業として厚生労働省と委託契約を締結しました。本市の基幹産業である農業を柱とした6次産業化を図るための事業を行い、農業の振興と関連分野での雇用拡大を推進していきます。

長期的な雇用を生み出すためには、既存企業の規模拡大と新規企業の立地が必要です。トヨタ自動車では、東北を中部・九州に次ぐ国内第3の生産拠点と位置づけています。関連企業や部品メーカーが東北に進出してくる可能性が高く、周辺部への企業誘致が期待されるところであり、また、地域企業が参入できる可能性も高くなってきています。企業が本市に立地しやすくなるよう、山形県・宮城県・大崎市とともに国道347号の早期通年通行に向け、国や県に対し強く要望していきます。



青野隆一 議員

暮らし続けられる 元気な尾花沢を目指して

質 福祉隣組制度を婦人会等の地域力を活用し、区長単位として拡充してはどうか。

市長 現在の福祉隣組制度は、民生委員を単位として活動しています。これまでの経過を踏まえて充実化に向け、地域の皆さんや社会福祉協議会と連携して取り組んでいきます。

質 尾花沢市商店街組合の「御用聞き」制度を、市単独事業として存続してはいかがですか。

市長 この制度は山形県の助成を受け、今年度で終了となりました。足腰の不自由な方や交通手段のないお年寄りなどに定着し、利用実績も伸びています。福祉事業と連携を図り、来年度以降も継続できるよう支援していきたくと考えています。

質 路線バスについては、交通弱者を支援するために、抜本的な改善をしてはどうか。

市長 今後は、利用率を踏まえた効率的な運行方法や小中学校統合によるスクールバスの活用や公共交通空白地域におけるデマンドバス導入などの見直しを行っていきます。

質 流雪溝に活用する新鶴子ダムの水利用や取水権は、どう進めていきますか。

市長 現在、新堰と同様に、粟生、鶴巻田、坂本地区の流雪溝における暫定水利権の取得に向けて、関連データの作成に向けて取り組みを進めていきます。今後、必要箇所については、順次進めていきたいと考えています。

質 日本三雪の地として、雪対策係を新設し、県立の克雪研究所を要望してはどうか。

市長 今年度から新エネルギーを新設しました。「やまがたゆきみらい推進機構」にも積極的に参加し、なお一層雪対策の強化に努めていきます。

質 尾花沢市の良いものは何でも売り出す、「おばね販売部署」を新設してはいかがですか。

市長 今年度から農業を基幹に商業・工業・観光を連携して6次産業化を推進する「産業振興室」を設置しました。今後とも関係課や関係機関と連携して尾花沢の良さを売り込んでいきます。



9月定例会

一般質問



小関英子 議員

新成人式のために
市民アンケートの実施を

質 高齢化が急速に進み、広い面積を有する本市で、身体障害者の方も含めて、安心して病院に通院できる環境整備をどのように考えていますか。

市長 通院や移動手段の確保を図るため、路線バスの運行や、福祉タクシー券の発行などを行っていますが、今後とも努力していきます。

質 今年度も、8月に真夏の成人式が行われましたが、良き思い出多い成人式・二十歳のつどいのために、市民アンケートを実施してはいかがでしょうか。

市長 今年度より式典については、天候によるリスクも考慮し、サルナートコンベンションホールで開催しました。引き続き実行委員会等の意見をお聞きしながら、より良い式典にするため努力していきます。

質 自然豊かで良質な農作物に恵まれている本市で、より安全で安心な地産地消を促進するために、どのような取組みをしていますか。

教育長 学校給食では、月1回「地産地消デー」献立の日、小

学校では年に数回「郷土食の日」を設け尾花沢産、県内産の食材を中心に使用した学校給食を実施しています。また、小中学校統一メニュー「たつぷり尾花沢の日」を設け、地元産野菜と尾花沢牛をふんだんに使った特別メニューなども実施し、地産地消に努めています。

市長 山形県では、原発事故発生当初から空気・水・土壌及び農作物などの放射能を測定していますが、これまで全てで安全であることが確認されています。4月に農用地の土壌分析を県内6箇所で行い、作付制限はない旨の調査結果を得ています。

また、県産農畜産物等の放射性物質検査を3月24日のほうれん草から始まり、9月2日まで125件を調査した結果、全ての検査対象について厚生労働省が定めた暫定規制値を下回っており、県産農畜産物等の安全性が確認されました。今後も継続して検査が予定されています。



塩原末知子 議員

「絆」でむすぶ震災後の
新たなまちづくりの構想を

質 安心安全な尾花沢であるために各地区ごとの「助け合いの絆づくり」と「災害時の情報発信」の見直しが急務です。第6次総合振興計画の震災後の防災対策に関して見直しをすることは可能ですか。

市長 第6次総合振興計画の防災に関する計画では、防災の現状と課題、そして主要な施設等基本的な事項が示されています。対策としては、的確な情報伝達のもと地域で助け合う「共助の精神」や地域力が重要視されており、自主防災組織の強化が必要で、総合的な見直しについては、地域防災計画や各種マニュアルなど、順次取り組んでいきます。

質 健康、福祉の観点からも、スポーツの力で元気な尾花沢にしてはどうですか。

市長 プールが閉鎖して数年が経過したが、プールを復活させ、長根山公園・徳良湖・花笠高原全体をつなぎ、森のホテルに毎年なでしこジャパンの選手達が訪れたくなるような地産地消の食材を提供できる選手村（アス

リートビレッジ）を構想してはどうですか。

市長 昨年、民間の室内プールもオープンしていますので、既存の小学校プールと民間プールの有効活用方法を検討していきます。スポーツ施設は、長根山・徳良湖・花笠高原とそれぞれ目的を持ちながら運営していますが、既存施設の特徴を活かしスポーツ振興を図っていきます。

質 良質の観光資源に恵まれている尾花沢、農業を基盤にした第6次産業の育成を進めるにあたって、花笠まつり、奥の細道、徳良湖、銀山温泉、花笠高原や御所山、延沢城跡など、市内に点在する観光地をどのように結びつけていくのですか。

市長 本市には、観光資源が多くあります。良さを十分に活かしながら、更にグレードアップし、情報発信していくことが重要と考えています。具体的には花笠のまち観光案内所との連携を深めるとともに、周遊観光に適したマップを作成するなどPRに努めていきたいと考えています。



9月定例会

一般質問



石塚ミツ子 議員

危険な原発から
自然エネルギーへの転換を

質 原発をやめるために、先進地に学び、風力やバイオマスなどの自然エネルギーの積極的な取組をしてはいかがですか。

市長 「新エネルギー係」を本年度より設置し、推進体制を図りました。国県の動向を見極め民間活力導入と地域活性化も視野に入れながら考えていきます。
質 放射能被害や風評被害を受けないために、JAグループより要望書を受けたこと、国に要望したことの取扱いはどうなったのか伺います。

市長 8月17日農林水産大臣に国主導で全頭検査の実施、風評被害を含めた損害に対する確実な補償の実施・堆肥管理と処理方法の措置・堆肥管理と処理に要した費用に対する補償・安全な稲わら及び代替飼料の確保対策の実施・被害農家の経営安定のための資金繰りの融資制度の拡充について、議長及び東日本大震災被害等対策特別委員長と共に要望活動を実施しました。
質 子供たちの健康を守るため、家庭や公園などの土壌検査を実施し、万が一除染が必要な場合

は、迅速な対応を。また学校給食の安全のため、食材検査の徹底を図るべきと思うがどうですか。

市長 校庭などの土壌検査は、県の8市の測定地点で基準値以内であり、継続的に県が全市町村で測定をし、異常が出ていないため安全が確保されています。学校給食の食材は牛肉の全頭検査の実施、県産農産物は県で定期的に検査が行なわれ、厚生労働省が定める暫定値以下で安全性が確認されています。

質 森のホテル・花笠大浴場の指定管理料が赤字経営のため年々増加しています。来年度からの経営について、市民アンケートを実施してはどうですか。
市長 長引く不況の影響で各営業施設の利用者が減少し、収入減となり逆に設備の更新や修繕費が増加しています。「花笠高原施設等運営検討委員会」で施設の運営方針を見直し改善案をまとめ、それにそって運営を行ないます。「市民アンケート」は、試行段階において生の声を聞いてよりよいものを目指します。

首都圏尾花沢会に

市議会議員15名が参加

9月25日、市ヶ谷の私学会館において第27回首都圏尾花沢会総会、懇親会が開催され、加藤市長はじめ、市議会からも新人5人を含む15人が参加しました。

私たち議員も、全員で「花笠踊り」を披露したところ、あまりの素晴らしさに(?)アソールがかかり、首都圏の方々に大変喜んでいただきました。

総会では、平成22年度事業報告と決算及び、平成23年度事業計画と予算が可決されました。また、役員改選が行われ、4年間会長を勤められた笹原正次さん(尾花沢)から原田忠吉さん(宮沢)に引き継がれました。



参加者の皆さんは、一年ぶりの再会で親睦を深めながら、カラオケ、舞踊、ビンゴゲームと大いに盛り上がりました。閉会に当たり、来年の再開を約束するとともに、ぜひ若い世代への参加を呼びかけていこうと意

総会後、懇親会が開催され、最初に作詞者の山口斎さん、作曲者の加藤恵子さん、歌手の岩田きみえさんが壇上に立ち、市民歌「夢を語るう」の斉唱で始まりました。

見が一致しました。東京は、薄曇りの天候でしたが、会場はおばね弁丸出しで熱気につつまれ、ぜひ来年もまた来ようとの思いを強くして会場を後にしました。



可決された議案

9月定例会

- 認第1号 平成22年度尾花沢市一般会計歳入歳出決算認定について
- 認第2号 平成22年度尾花沢市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第3号 平成22年度尾花沢市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第4号 平成22年度尾花沢市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第5号 平成22年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第6号 平成22年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第7号 平成22年度尾花沢市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 認第8号 平成22年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 議第39号 平成23年度尾花沢市一般会計補正予算（第4号）
- 議第40号 平成23年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議第41号 平成23年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算（第2号）
- 議第42号 平成23年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算（第1号）

- 議第43号 尾花沢市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議第44号 尾花沢市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第45号 尾花沢市路線バス運行に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第46号 尾花沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第47号 尾花沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議第48号 尾花沢市水環境保全条例の設定について
- 議第49号 尾花沢市過疎地域自立促進計画の一部変更について

議会案

- 議会案第9号 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について
- 議会案第10号 拡大生産者責任（EPR）とデポジット制度の法制化を求める意見書の提出について
- 議会案第11号 シルバー人材センターに対する国の補助金確保に関する意見書の提出について
- 議会案第12号 日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書の提出について

請願の審査結果

採択された請願

平成23年請願第12号

◎二ツ森山登山に利用している道路の市道編入に関する請願

二ツ森観光開発促進委員会
玉野地区区長会

会長 坂木 常義

平成23年請願第13号

◎原子力発電所事故対策に関する請願

みちのく村山農業協同組合
代表理事組合長 高谷 尚市

平成23年請願第14号

◎細野簡易水道水源地柴倉林道の市道編入に関する請願

細野第1区長 斉藤 義夫
細野第2区長 五十嵐 幸一

平成23年請願第15号

◎細野地区市道整備に関する請願

細野第1区長 斉藤 義夫
細野第2区長 五十嵐 幸一

平成23年請願第17号

◎シルバー人材センターに対する国の補助金確保を求める意見書の提出についての請願

(社)尾花沢市シルバー人材センター
理事 渡辺 正平

平成23年請願第18号

◎牛房野地区流雪溝の早期整備に関する請願

牛房野第1区長 星川 昭雄
牛房野第2区長 佐藤 剛

平成23年請願第19号

◎地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願

連合山形北西村山地域協議会
議長 田川 健一

不採択の請願

平成23年請願第16号

◎ニュータウン東光台と市道上町長根線を結ぶ市道新設に関する請願

新町東区長 佐藤 好政
新町3区長 佐々木 清次
若葉町区長 小林 秀也
荒楯区長 菅原 光政

継続審査される請願

平成23年請願第20号

◎原発からのすみやかな撤退を求める意見書提出の請願

山形県労働組合総連合内軍費を削って福祉・教育の充実を国民大運動山形県実行委員会代表委員
濱田藤兵衛



意見書の審査結果

可決された意見書

◎地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について

東日本大震災の復興、経済状況の活性化等に、地方自治体の果たす役割は大きくなっていきます。平成24年度地方財政の予算確保に向けて次のとおり対策を求めます。

1. 復興費の確保と施策の充実
2. 財政需要を的確に捉えた上での財政計画と交付税の確保
3. 地方財源の充実・強化を図るための抜本的対策

◎拡大生産者責任(EPR)とデポジット制度の法制化を求める意見書の提出について

ごみ処理費用負担増により財政の圧迫が深刻化しています。わが国の大量生産・大量消費・大量リサイクル型の社会を見直し、拡大生産者責任(EPR)やデポジット制度の導入を積極的に検討し、早期に制度化するよう関係省庁に意見書を提出します。



◎シルバー人材センターに対する国の補助金確保に関する意見書の提出について

国の行政刷新会議事業仕分けを受け、補助金が削減されました。今後更に補助金の削減が進めば、事業縮小等も実施せざるを得ない状況です。今後も安定的な運営が図られるよう、補助金制度の充実を要望します。

◎日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書の提出について

今回の東日本大震災で、社会資本整備が太平洋側に偏り、東北地方の災害時リスク分散や代替機能の確保が不十分であることが顕在化しました。

日本海側と太平洋側の国土軸を均等に整備を図ることで、双方の補完体制も整い、災害に強い国土の形成、さらには強固な経済基盤が構築されるよう意見書を提出します。



農畜産物を守り、安心・安全な産地づくりを



東日本大震災被害等対策特別委員会

委員長 大類 準一

市議会の改選後、初めての臨時会が開催された8月4日、「東日本大震災被害等対策特別委員会」が設置されました。これは、3月11日の東日本大震災並びに福島第1原発事故の被害に対する対策と安全な市民生活を確保するために設置されました。

3月11日の大震災や4月7日の余震では、尾花沢市内の住宅や道路などに被害があり、市議会では、随時、全員協議会を開催し、市当局とともにその対策を協議してきました。

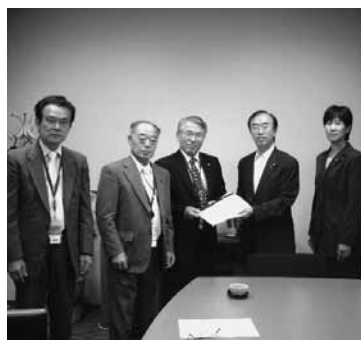
原発の事故による被害は、7月24日、放射性物質汚染稲わらによる肉用牛の汚染が県内で確認され、尾花沢市の畜産業にとっても大きな被害が及ぶ事態となりました。

特別委員会では、ただちに市長・議長とともに農林大臣、農林政務官、国会議員に対して現状を訴え、要望活動を行ってきました。引き続き農畜産物への被害対策と安心・安全な産地づくり、さらに市民の健康を守る環境づくりに向けて取り組んでいきます。

《本市畜産危機克服のため市議会各会派の国会要望活動(9月26日)》



市政クラブ



みどり公明クラブ



おばねクラブ



私のひとこと



三宅 惇也さん
(若葉町)

◎はたちのつどい会長を 引き受けて

はたちのつどい実行委員会会長に就任し、成人式とはたちのつどいを無事に終えることができた今、安堵の気持ちでいっぱいです。気が付けば私たちも二十歳を迎え、成人となりました。中学校を



加藤 梨奈さん
(丹 生)

◎二十歳になって

東日本大震災から半年が経ちましたが、先月無事に成人式を迎えることができました。成人式では久しぶりに中学時代の友達と会う事ができ、昔に戻った気分でも、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。二十歳になつて思うことは、今まで以上に責任感や目標を持ち生活していきたいと思えます。20年間、たくさんの方に支えられてきたので、これからは少しずつ恩返ししていきたいなと思います。また、こまごま一生懸命育ててくれた両親には本当に感謝の気持ちでいっぱい

卒業して以来会っていなかった同級生とも今回の成人式で再会することができました。楽しかったことも辛かったことも今となっては良き思い出となり、そんな思い出話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごしました。

はたちのつどい実行委員会は5月から準備を始めました。成人式を心に残るものにするために、毎週忙しい中集まり、話し合いを重ねました。その甲斐あって、とても良い成人式になったと思います。それも委員会のメンバーの協力があったからこそでした。みんなに感謝の気持ちを伝えたいです。そんな私たちが尾花沢を元気にしていけるよう頑張っていきたいと思っています。

す。改めて、親の凄さ、大切さを感じました。これからも迷惑をかけてしまおうと思いますが、よろしくお願いします。

私は成人式実行委員をやらせてもらったのですが、委員全員ですばらしい式典、つどいを開催するために、何回も集まり話し合いを重ねてきました。話がなかなか進まず苦労した部分もありましたが、当日は大成功だったのでよかったです。初めは、顔も名前も知らなく会話も少なかったのに、おばねに住む同じ二十歳。どうせやるなら盛り上げよう!!という気持ちで最後はみんなの想いが一つになったのでもいい結果で終わったのだと思います。

これからは楽しいことばかりではないと思いますが、どんな壁にも負けず、挑戦する気持ちを持つてがんばりたいです。

人のうごき

全国市議会議長会から永年の尽力された功績により感謝状と表彰状が贈られました。

感謝状

鈴木 忠 前議員

表彰

◎15年以上

伊藤 精一 議員

鈴木 敏正 議員

菅根 光雄 議員

◎8月20日

岩沼市民復興夏祭り

菅根議長、菅野副議長が出席。市民一丸となつて復興に取り組む熱い思いを感じてきました。

◎10月7日

岩手県平泉町議会5名

道の駅尾花沢「ねまる」の整備について

行政調査に来市された議会

北村山広域行政事務組合 議会より

第1回北村山教育賞受賞者の紹介

◎太田 渉子さん

尾花沢市出身 北村山高校卒

(株)ソリユーションズ勤務

◎山形県立東根工業高校生徒会

光プロジェクトチーム

あともがき

7月の尾花沢市議会選挙の結果、市議会だより編集委員も新しい委員で編集を始めます。新人が多く、四苦八苦ししながら、先輩にご指導いただき編集を進めています。文字を少し大きくしてはと言う意見も出ています。今までの良い所を伸ばし、新しいアイデアが入れるよう新しいメンバー一同一生懸命がんばってまいります。今後とも「市議会だより」をよろしくお願いたします。

(大類好彦)



市議会だより編集委員

青野 隆一

星川 睦子

菅野 修一

小関 英子

◎大類 好彦

武田 佳久

○塩原未知子

◎委員長 ○副委員長

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会